

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001004

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ◎道路整備 L=170m 【H20】用地確定調査 L=170m、用地補償 A=680㎡、 本工事費 改良 L=90m、W=6.0m 【H22】用地確定調査 L=50m 【H24】用地補償 A=527.61㎡ 【H26】本工事費 改良L=80m、W=6m 舗装L=170m、W=6m
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	梅小路道路整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	道路整備延長		#N/A	
事業目標	L=170m	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	◎道路整備 L=170m ○測量試験費 ・用地確定調査 L=170m ○用地及び補償費 ・用地補償 1,207.61㎡ ○本工事費 ・改良舗装 L=90m、W=6.0m	○測量試験費 ・用地確定調査 L=170m ○用地及び補償費 ・用地補償 A=680㎡ ○本工事費 ・改良 L=90m、W=6.0m		○用地費 ・用地確定調査 L=50m		○補償費(H23からの事故繰越し) ・用地補償 A=527.61㎡	
	事業費(千円)	31,083	25,020	0	2,000	0	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	31,083	25,020		2,000	0	4,063	
実績事業費	事業費(千円)	29,756	23,750	0	1,943	0	4,063
	財源内訳						
	国庫支出金	17,430	17,430				
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	5,020	5,020					
一般財源	7,306	1,300		1,943	0	4,063	
関連事項	(特定財源の詳細等) 臨時地方道整備事業債(90%)	【評価・実績】	(実施内容等) ○測量試験費 ・用地確定調査 L=120m ○用地及び補償費 ・用地補償 A=598.09㎡ ○本工事費 ・改良 L=85m、W=6.0m ※前年度評価結果	(実施内容等) ○用地費 ・用地確定調査 L=47m ※前年度評価結果	(実施内容等) ○補償費(H24へ事故繰越し) ・用地補償 A=527.61㎡ ○土地売買契約 ※前年度評価結果	(実施内容等) ○補償費(H23からの事故繰越し) ・用地補償 A=527.61㎡ ○土地売買契約 ※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連(継続無し)	年度目標値	L=90m		L=47m	A=527.61㎡	A=527.61㎡
		年度達成率	95%	#DIV/0!	97%	#DIV/0!	100%
		全体達成率	76%	76%	83%	83%	96%
		事業進捗状況	☆☆☆		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	梅小路道路整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	用地買収件数								
【抱える課題やニーズは】	町道の不便な通行状態。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	行き止まり道路(町道)の解消。	① 用地買収件数/用地買収件数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1件	実績値	1件	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1件										
実績値	1件										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	地域交通の利便性が図られる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①道路用地の買収	未処理用地の整理が可能となったため、道路整備に必要な敷地について、債権者と土地売買契約を行ったが、買収する土地に係る裁判所の許可手続き及び根抵当権者の承諾に時間を要したため平成23年度内に買収費の支払いが不可能となり、平成24年度に事故繰越しとなったものであるが、平成24年6月13日付けで雄武町に所有権移転となる。土地買収費は、平成24年6月20日支払済。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の行き止まりを解消し、地域交通の利便性を図ることは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、地域交通の利便性の向上が図られる。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	未処理用地の整理時期が未定であったが、本年度に用地売買契約の締結を実施できたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

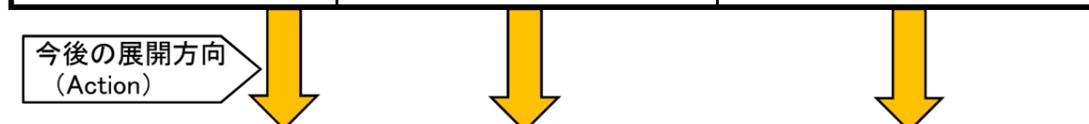
公平	判断の理由	行き止まりの道路を解消することにより交通の利便性が図られることは、不特定多数の利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
交通の利便性を図るため、行き止まりの道路を解消することは、必要不可欠なものであることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
行き止まりの道路を解消するための事業であり、本年度、未処理用地の整理を完了しましたが、道路整備が完了するまでは継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止